神さまの怨結び
かみさまのえんむすび
7
守月史貴
KAMIZUKI SIKI
Champion RED Comics
RED

神さまの怨結び 7

かみさまのえんむすび

守月史貴

Champion RED Comics

怨結びの呪いとは?? 対象者と交わり怨を結び、その者を消滅させる呪い。代償は交わりとされているが、真の代償は行使した者も世の縁から外れることで、外れ方は人により様々。稀に呪いを使わずに蛇に返す「呪い返し」という現象が起こり、その時、蛇は吐血するほどの厄を受ける。

蛇と約束しちまったからなあ・・・・・・・

クビツリ

■赤縄で首を吊って以来、呪いを望む少女を蛇の元へ導く役を負う。今も死んでいる状態で、とある事件で左腕を失った。呪いや神社の在り処を探る過程で、自分の名が九来木辰巳だと知る。本人は記憶を失っているようで覚えていないが、幼少期に神社を訪れ、蛇と逢っているらしいのだが……。

怨結びに関わってしまった人間たち

名無 ナナ

■呪いを使った安登まつりの死産となった子供の魂が母体に残り、名無となった。以前はクビツリとも敵対していたが……。

櫻 さくら

■呪いで同級生を消してしまい、今は刑事として怨結びを追う。蛇と契りを結んだこともあり、その時は依り代的に働いた。

角田梨世 かくた りよ

■幽霊などを視る力を持つ故、霊障で体調を崩すこともしばしば。ある日、清浄な空気を感じる場所に辿り着いたのだが……。

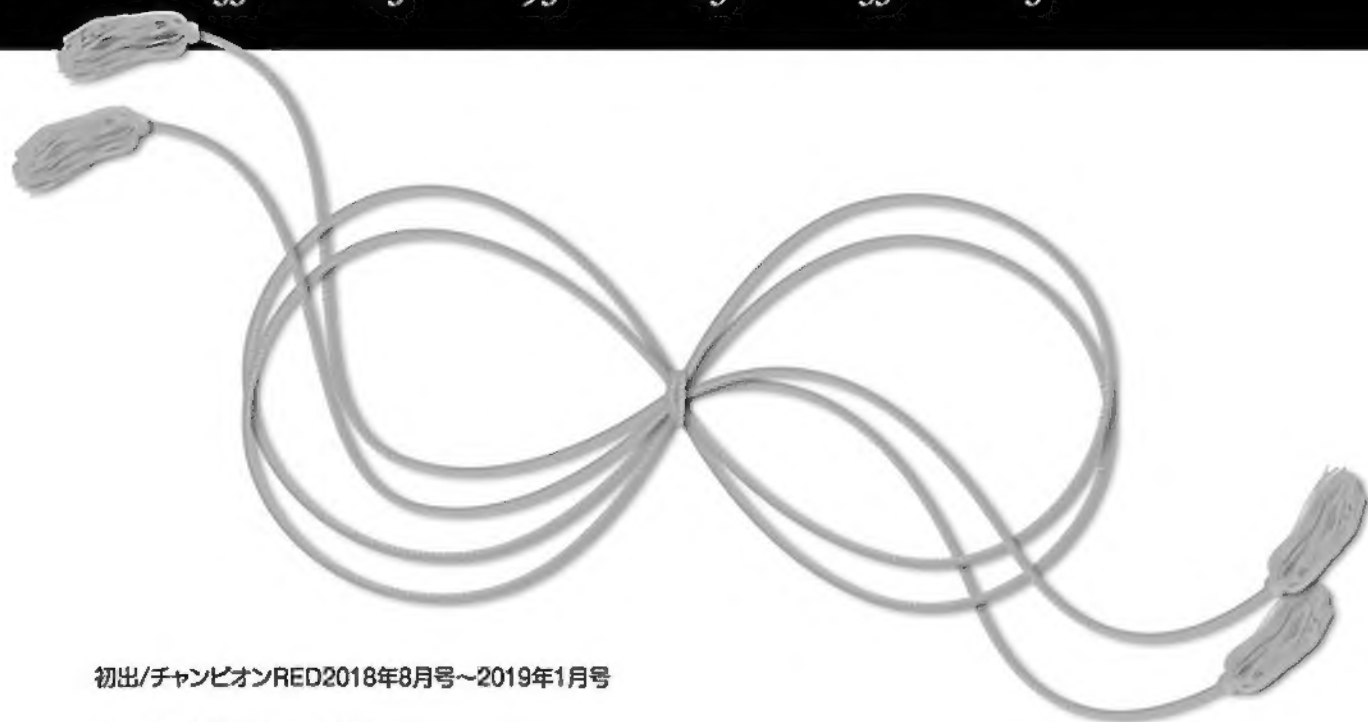
ファーストキス… おじさんと……

現世では既に蛇の神社は廃され、マンションになっており、そこの一階では一人の男がドライフラワーの店を構え、不浄な霊を寄せ付けない清浄な空気を漂わせる場となっていた。

その店に霊により体調を崩した梨世が救いを求めるように入っていく。そこにいたのは、眼鏡と髭の年かさの男。店長である彼に惹かれた梨世は、連日、猛アプローチをかけ、二人は一線を越えようという仲になっていた。

一方、蛇の神社に戻ってきたクビツリは、蛇から「怨結びを終わりにしよう」という言葉を聞く。突然のことに驚くクビツリだが……。

年かさの男×女子高生!? そして蛇の真意とは――――??

目次

初出/チャンピオンRED2018年8月号～2019年1月号

第三十五節❖さきみだれ
怨結(えんむす)びを
やめる…？
support us www.a-zmanga.net
………
冗談としては笑えねえなぁ
それとも
マジで言ってんのか？
………

…ふざけんな!!!
じゃあ これまでの怨結びは なんだったんだよ!?
呪いを使い果たしてお前の封印を解けば
そいつらは全員助かる
お前がそう言ったんだろうが!!
……それすら——
予測であって…確証などない

今更――……
ビビってんじゃねえぞ
お前が抵抗しようが拒絶しようが意地でも続けて貰う――
…俺たちはとっくに取り返しのつかねえところまできてるんだ
ここまでやっといて逃げんな!!!
――誰が…
だめだと――
!!
おいっ…
ザッ
ザザ

もう勝手にせよ
妾は寝る!!
あ…!?
……あー
そうかよ!!
言われなくても勝手にするっつの!!
ズン
ズン
名無
XXX-XXX
はっ…
はぁ…
はぁっ…
あ…っ

ふ…
はっ
はっ…
――すみません…
堪え…きれなくて
…な
なんで…幸司くんが謝んの
うちが無理矢理お願い…したのに
――イッた
いたッ…あ！

梨世……さん もしかして
初めて ……ですか？
い！
いい…っから
続けてっ…！
でも
こんなにッ
こ……
こんな
イタい思い… したんだからっ
せめて… 初めてはさっ
最後まで 繋がったまま──…

もそ
もそ
幸司…くん
あの…もし
子供…とか
出来たら
……
な
なーんて！
そんな簡単にできないよね⁉
ごめん今のナシ！
お お願いだから
ひかないで――
子供――
…ですか
……
もしそう
なったら――
嬉しい
ですね…
えっ
君は

自分を紫乃の生まれ変わりだと言ったけど
あれは…嘘だね？
え

あっ…のなんて——
紫乃が亡くなったのは今から丁度20年前だ
成人している君はとっくに生まれているんじゃないかな？

あっ…そ
そうだよね～!! あたしったらうっかり……
なんだ
……でも
君に運命を感じたのは本当だ

生まれ変わりでないのなら——

紫乃だなんて呼んだりしてすまなかった
僕が出会ったあなたは梨世さん以外の何者でもないのに

幸司……く…
それはまさしく『運命』なのかもしれないと……思えたよ
だから

…こんなおじさんで良かったら僕と……お付き合い
して頂けませんか
——……!
はい……

〃お付き合いしてください〃…なんて
こんなシチュエーション…マジであるんだ!……

…ああああどうしよ〜〜〜〜!!
ぼふっ

ちら…っ

しかも初めて男の人と
おっ
まだ……
スル…
頭フワフワしてる
……エッチ…しちゃった
キスマーク…

夢みたい…♡

はあ!?
梨世が料理部──!?
……マジ？どーしちゃったのよ梨世のやつ
どうもこうもいよいよ放課後は時間ねーってさ
えー
つか部活以前にもうここ2か月以上ずっと放課後遊んでないんじゃね
『バイト』だとかで
それな
料理にバイトかー
これはいよいよ男のニオイがぷんぷんすんな
しかも食事の世話と金が必要ってことはさあー
相手の男はヒモの可能性が!?
CLOSED
JKのヒモって何モンだよ!
……あ……
ん…っ
ふふ…♡
CLOSED

6月
15
……いけないんだー
こんな早くに閉店しちゃってさ
……誘ったのは梨世さんの方でしょう
2か月前はあんなに痛がっていたのに
まさかこんなに積極的になるとは…思いませんでした
んっ
だっ…て 足りない…うちは一日に何度でもしたいくらいなのに
が…し 仕事中ももやもやしちゃっ…て
なんか色々手に付かない
……し
お 女の子なのにこんなことばっか考えんのって変…だよね
げ
幻滅…
した?

こんなに自分を求めてくれる女性を――
あ ちょっ…そんなとこ嗅がな…っ
ぶっ…
…ぶふっ
くすくす
ホントやめ…髭くすぐった…ッ
ん
彼と過ごすこの一時だけ
ん
あ♥
少し――おっぱいが張ってますね
そ…う？ 生理前――だからかな…
結構遅れてて…
嫌いになるわけないじゃないですか
うちは変身することができる
普段の『偽りの自分』を脱ぎ捨てて――
ちゃんと ご飯食べてますか？
こんなに細い身体で…僕は心配ですよ
…あ！

この人だけの
ひっ♡
あん♡
あ!
ため…
ダメッぇ!
そんな深っ…くぅ♡
突い…たらッ
ッあ!!
あ!
ん!
んんッ〜〜〜!?
ああ…ほら
むせ返りそうな
梨世さんの香りで
いっぱいだ…
ごめ…っ
なさ…♡
お、お店の床…
汚しちゃ…っ
——思えば
『花』になる

出会った時のあなたは
頑なに自分を否定し
何かに怯え――
咲くことを恐れていた
……僕にはそれがひどくもったいなく思えたんです
だから
君が咲くための ほんの手伝いになれば と思って髪飾りを渡したけれど――
咲き乱れたあなたが…
こんなにも馨しく愛おしいものだなんて思いもしなかった
……ぜんぶ幸司くんの…おかげだよ…
もう――黒い奴らも
無理してカッコつけてた自分も

どうでもいいや
幸司くんが居ればそれで良い——…
ンッ!
ぴくっ
梨世さん?
うー…時々だけど
やっぱそのヒゲチクチクする
すすみません…
やまあイケおじっぽくてカッコいいと思うけど!
…いけおじ?
なんかこだわりあって伸ばしてるの?
こだわり——というほど大した理由でもないんですが
……
…笑わないでくださいね?
僕…童顔なんです
へ?

あと…紫乃を
亡くした当時
僕は28で……
それでも一生
紫乃以外の女性なんて
考えられなかったから
そういうことが
煩わしくて
髪を白くして
髭を伸ばせば
女性避けになるかと
思ったんです
その言い回し……
さてはかなり
モテてたんだな…？
…まさか
そのまま
おじさんのフリして
20年…？
…ええ
はは 自分から
笑うなと言っておいて
なんですが——
改めて口にすると
おかしな話ですよね…
そんな
ことないよ
……そんなことない
……「大した理由はない」
なんて嘘

めちゃめちゃ
こだわってんじゃん

うちの家？
……なんで？

ご両親と
お話ししたいことが
ありまして

え!!

つまりその髭は
『死んだ奥さんへの愛の証』
そのものでしょ？

僕と
結婚───して
くれませんか
けっ…
無論簡単には
受け入れてもらえない
だろう
僕はこんな
おじさんで
君はまだ若い
え
あ
けれど
ご
──ごめん!!
えっと…その
挨拶…とかは
もうちょっと
待って…ほしい
梨世…さん
…そ そうですよね
僕が性急すぎました…
困らせてしまって
すみませ──
…ちっ
違うの!!

そのっ すごく…嬉しかった！
……分かりました
何か…事情がおありなのですね
ただ…僕も本気でお付き合いしている以上無責任なことはしたくなかったので——
分かってるよ
年の差なんて関係ないし
幸司くんがか…身体目当てなんかじゃないことくらい
ていうか
…したいのは…うちの方…だし
うちだって本気だよ!!
でもっ…
い今…はダメ…で
……梨世さん——…

おおーい！義兄さーん
今日はもう閉店なのかー？

おっと！
ドン
ん？
ありゃあ——…
やあ
ごめんごめん
気付かなかったよ
おう
義兄さん！
あの子 最近
よく店で見るねえ
通りから
ちらほら
見かけてたよ
可愛い
リピーターが付いて
よかったじゃねえか！
…ん？ でもなんで
裏口から出てきたんだ？
ああ——
彼女はお客じゃ
ありませんよ
先日電話で少し
話したでしょう？
彼女がその
結婚を前提にお付き合い
している女性なんです
…へっ？
今の子が？？
いや でも
あの格好は——

あっホラ!!
コレ あの子の落とし物じゃねえか!?
えっ ほんとですか! 大変だ――

ああいや
ならその落とし物は
別の人だ
彼女は
社会人だよ

義兄さん
…本当はこんなこと
詮索したかねえけどよ
『ちっ…違うし!
社会人だし』
結婚を前提の付き合い
ってえのは その——…
なんだ……
『仕事が
不定期って
いうか…』

義兄さんは…
なんでそう
思ったんだ?
誰かにそう
聞いたのか?

……
高…校…生

……ゴメンね
うちだって今すぐにでも結婚したいよ
でも
うちの親が知れば確実に彼は責められる
悪いのは騙したうちなのに
事実を知った彼はひどく後悔して うちの両親に泣いて謝って……
そんなのいやだ
幸司くんにそんなこと――させたくない!
――だったら

隠し通せばいいんだ
うちが卒業するまで!!
真央はその時打ち明ければ良い
そりゃ少しは怒るかもだけど…
梨世―― 昼は外いこーぜ
ねー あたし今日おべんとなーい 買いに寄って良いー?
おっ
パンなら朝買いすぎちゃったの２コ余ってるよー
他に誰か要る?
幸司くんならきっと分かってくれる――…
あ じゃあ うち も……
お
100円な
!
ふわ・・
子供――…ですか
もしそうなったら嬉しいですね…

おい！
梨世⁉
マジかよ⁉
えっなに？
誰かセンセ呼んで！
梨世が急に――
こど…も
まさか

第三十六節❖お前が綺麗だったから

うわっ……
うわあぁ〜〜〜〜〜
やったよ幸司くん！
うちやったよ——!!

ほんとに
うちと
幸司くんの
——!!
男の子かな!?
女の子かな!?
名前
どうしよ
〜〜ッ♡

はっ

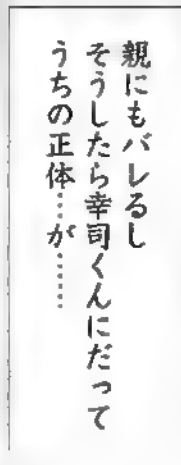
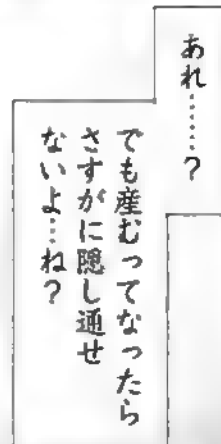
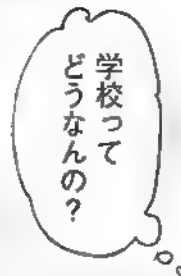
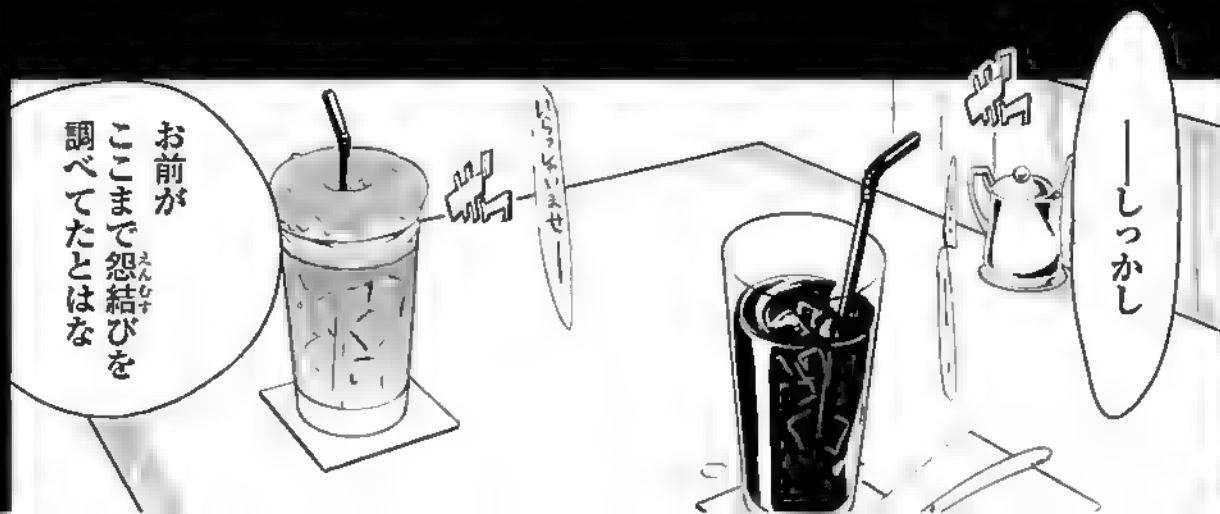
隠し通せば
いいんだ
高校卒業
するまで
——……
あれ……？
でも産むってなったら
さすがに隠し通せ
ないよ…ね？
学校って
どうなんの？
親にもバレるし
そうしたら幸司くんにだって
うちの正体…が……

……だ 大丈夫…
幸司くんなら
きっと

喜んで
くれ…る……

え・・・？

いらっしゃいませー

お前が
ここまで怨結びを
調べてたとはな

ま 正確には
僕じゃなくて

ズズー…

安登パパの調査結果を
盗み見してる
だけなんだけど

それをわざわざ
ケーサツと気まずい
君のために教えてあげてる
僕ってやさしーよねぇ〜?

ああ…
感謝してる

もっと褒められる
べきだよねぇ〜?
ねーねーねー

分かった
もう一品
好きなの頼め

……仮にも
警察の捜査内容だ

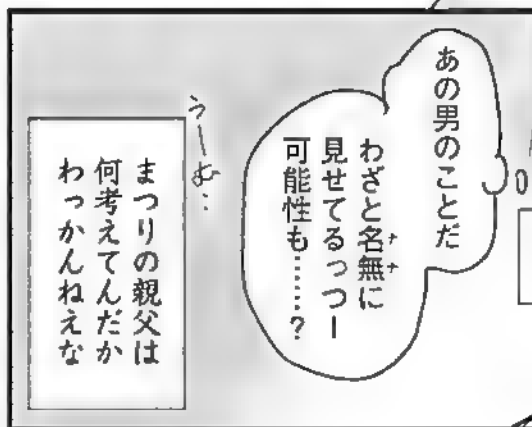
やった!

子どもに盗み見
できるほど緩いとは
思えねえ

が

あの男のことだ
わざと名無に
見せてるっつー
可能性も……?

うーむ…

まつりの親父は
何考えてんだか
わっかんねえな

安登パパ含めて
相変わらず仕事
ばっかしてるー
ーーあっ
刑事のおにーさんは なんか
色々あったみたいだけど
辞めたって話は
きーてないよ
……そうか
そんなことより僕はクビツリの
スマホが生きてたことに
一番驚いたけどね!!
充電して
たんだー?
偉いじゃん!

やり方
教わったしな
っていうか
使い始めたら便利過ぎて
手放せる気がしねー
充電できるトコでコーヒー頼んで
こっちで暮らしてる時に
飲食の練習もしといて
よかったねーえ
けどさ

クビツリは
せっかくケーサツから
逃げ出せたのに
肝心の怨結びは
全然やってない
らしいじゃん!
あのニセ神と
なんかあった?

……
知らねえよ あんな奴
つか 怨結びが起きてないことまでお前らにバレバレなんだな…
そりゃそのスマホ持ってる限りGPSでクビツリの居場所は筒抜けだし
その辺りで失踪事件がなければ 怨結びは起きてないってことでしょ
まじか
——まあ いいや……
話を戻すが
怨結び——いや 縁結びのルーツは
唐の故事『続幽怪録』……だったか？
……赤い縄で結んだ相手と結ばれるって点では
それが一番近しいかな

縄に限らなければ
日本の古事記や世界中に
赤い糸にまつわる
伝説や風習は多々あるよ
ちなみに縁結びの御利益が
あるとされる神は天太玉
伊邪那岐　伊邪那美　奇稲田姫……
お前……
中身幼児の割に
すげえ詳しいな
それ全部
覚えてんのかよ
……
ママがずいぶんと
勉強好きだったからね……
……まあ色々あるけど
その中で僕が気になるのは
奇稲田姫のエピソードかな
トン
彼女は出雲国簸川に
住み着いた——
『ある化け物』に喰い殺される
運命だったところを
スサノオに助けられた

化け物の名は
「八岐大蛇」
その姿は文字通り
8つの頭に8つの尾を持ち
鬼灯のように
「真っ赤な目」を持つ――
『蛇』の化け物だ
蛇……!?
そして奇稲田姫以外の
8人の娘を喰い殺した
そいつは最後
『酒』で酔い潰れた
ところを退治された……
……

……結局
怨結びはそんな故事や神話の数々を『原型』にした
土着信仰の類じゃないか って
そう 安登パパから聞いた時から僕は蛇はニセ神だと思ってた
少なくともキレイなモノなんかじゃないって
蛇が……
神じゃ
…ない……？
クビツリは言ったよね
『蛇は封印のせいで元の力を失って 怨を結ぶことしか出来なくなったんだ』って
そもそも蛇はなんで『封印』されたの？
それ…は——…

縁結びの神様なら・・・封印する必要なんて・・・ないじゃないか
誰かが封印しなくちゃならないようなバケモノが真の力を得たところで
怨結びの犠牲者を……
呪い人をホントに助けてくれると思う？
…………
分からねえ……！！
あいつは……いつだって淡々としていて
心の内を見せたりしなかった……っ
怨結びを…
終わりにせぬか
うるさい！！
勝手にせよ

珍しく 感情的だった蛇……
そして突然怨結びをやめると言い出した理由——……
分からねえ…？
違う
俺があいつを分かろうとしてないだけだ
最初から俺を騙して怨結びを続けるつもりだったなら
今更やめる理由なんてねえだろうが…!!
…一度 あいつとは腹を割って話さなくちゃならねえな……
だがその前に

なかなか捕まらねえ
神社の土地の持ち主
あの花屋の店主を
何がなんでも捕まえて――
奉っていたモノの
情報を聞き出してやる!!

ザァ
ァ
ァ…

クビツリ
なんだろ？
あいつ
傘もささずに
ああ……

!!

おい！ 大丈夫──

かっ……

も もう……

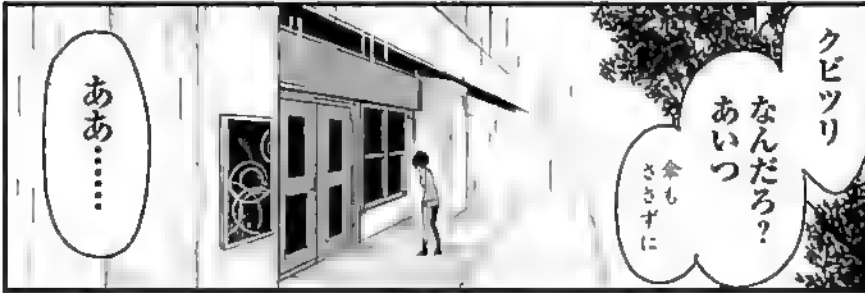
何日も──会えないの…

お店…裏も鍵…人…居なくて……

ギャァァァァ

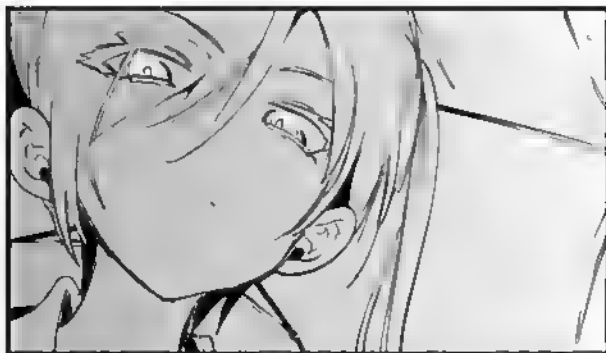
なんて……？

幸司くん……

こうし……？

閉店

閉店のお知らせ
この度諸般の事情により
閉店させて頂くことと
なりました。
長い間ご愛顧頂き
誠に有難うございました。

閉…店!?
うっそだろ？ このタイミングで——

……おい あんた!!
何か事情知って——
ひっ!!!

クビツリ
その子――
身体拭いて 屋根のある場所に
連れてってたげなよ
雨で冷えると……
良くない
あ？ ああ……
そうだな
気のせいか……
あいつに
触れたとき感じた――
背筋を伝う
怖気のような
あれは……
『悪意』…？
&ネットコミック
完全分煙フロア
ダーツ
シャワー

…『しりあい』なんかじゃない!!!

？？？
そうなの？
……クビツリ

あー…なんか分からんけど……悪い
ほら
ココアでも飲んで落ち着いて――……

……ッうー！

うえッ…え!!!

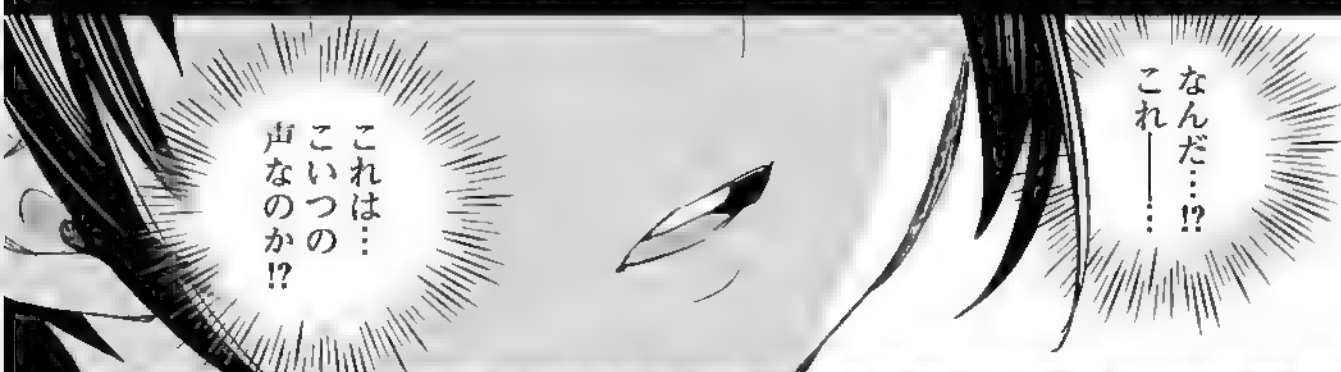
おいおい
お前やっぱどっか
具合が――……

だってまだ報告もできてない……

あのひとに一番に……知って欲しかったのに

『…もしかして 結婚してほしいって言ったのは 嘘だったのかな……』

『子供出来たら嬉しいって 言ってくれたのも ほんとは嘘で
内心めんどくさい女だなって思われてたのかな……』

『手軽にセックスが出来ればいいって』

なんだ…!? これ――……

これは…こいつの声なのか!?

『カラダだけの関係』

『だとしたら』

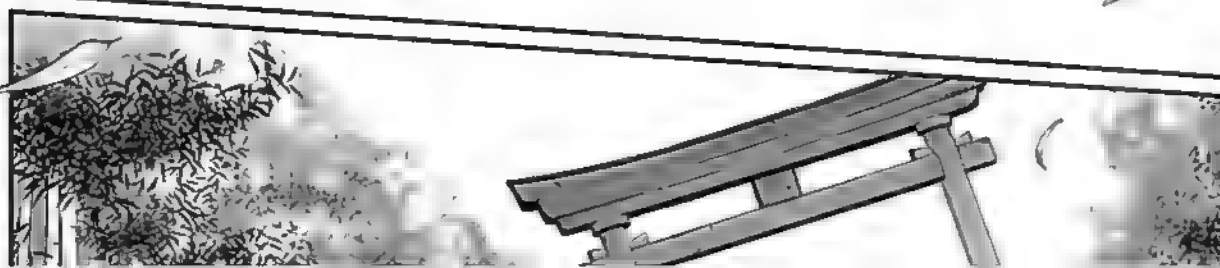
『許せない』

呪い人の声……だ

あれほど怨結びを忌み嫌った貴様が

わざわざ呪い人を探してきたというのか

滑稽だの

イラッ…

おっと──…

このまま売り言葉に買い言葉じゃいつまでも埒があかねえ……

〝今の妾には善悪も
心の痛みも分からぬ　故に――〟
〝頼む……〟
〝いつか蛇と成り果てる前の
本当の妾を取り戻すまで〟
妾の良心となって欲しいのだ……
……ああ
よく覚えてる
蛇の正体が
なんであろうと
自分の罪と真摯に
向き合おうとする
あいつの姿は――
……そうだな
滑稽だ

一度もちゃんと伝えてこなかったが――
……俺が意地でも怨結びを続ける根拠は

実はこれと言ってなんにもねえ
正直……まだ分からねえことばかりだし
あまりにも頼りねえ希望だ
だが信じるに足るもんはあった

俺がお前に従うと決めたのはな
……？
あれほどプライドの高かったお前が俺なんかに頭を下げたことにも驚いたが

それ以上に顔を上げた瞬間――
俺と目の合った蛇が

お前がっ
綺麗だったからだッ!!!

……な
なっ
なん…っ
なっ……
…じゃねえ!!!
今のはその…
瞳が綺麗とか
心が綺麗とかそういう
……あー!!
つまりだ
あ…あの時怨結びを
続けると言ったお前は
まっすぐ俺を見てたんだ
だが怨結びをやめると
言ったお前の目は——
どこも見てはいなかった
大事な
ことなら
ちゃんと
俺を見て
言いやがれ!!
…
…
はあ
すぁ…
……蛇?

…ッもう…よい
わかった…から…っ
…ぷっ
くっ……
あっははは…
なんだよ あんたら……
うちは真剣に悩んでるってのに
見せ付けてくれちゃってさー…
ぷはっ
お互い大事なら
素直にそう言や
いーじゃん
違うッッッ
あ〜あ
なんか……
毒抜けちゃっ
たなー……
……
うちもまだ

幸司君が　どうして姿を消したのか
事情もなんにも知らないんだ
怨結びとか呪いとか悪い冗談みたいだけどさ…
こんな場所来たら……信じざるを得ないよね
お前……
……帰る
呪いはまだ……要らない
うちも――幸司くんを信じてみる
少し……冷静になった

あ…この人
時々店に来てた……
確か幸司くんの
義弟さん――!
あ…あのっ うち
幸司く…店長に話が――
悪いが

あんたとはもう終わりにしたいってさ

おーい…蛇ー

いい加減
出てこいよ

また
怒ってんのか?

うわ
なんてとこに
嵌ってんだ!!
……食べる
怨結びをやめると
言ったことは——
……取り消す
そなたの覚悟は
…よく分かった
怨結びの歴史を
調べることも止めはせぬ
……だが——

……やはりどうしても
知りたいか？
神社……
怨結び――
……ひいては
妾の過去を
そりゃ……
知りてえよ
俺のこと
怨結びのこと……
何も知らずに
怨結びを続けるのは
嫌なんだよ
……蛇のことも
知りたいと
思うのは迷惑か
……
どすん
ぐえ

……無理はするなよ

変わったことがあれば……すぐに報告せよ

変わったこと……

呪い人の声が俺にも聞こえたこと……とか?

でもなー……

あの一瞬だけでそれ以降 他の声は何も聞こえねえし

何だったんだほんと

……あいつ

このまま呪いを使わずに済めばいいんだが——

『義兄さんは会わねえよ』
『あんたとはもう終わりにしたいってさ』
……嘘だッ!!
なっ……
彼はそんな大事なこと他人に言わせたりしない――
…うちは本人に言われるまで信じない!!
幸司くんは今どこに居るの!?
直接話をさせて――

……何が目的だ!!
金か!?
……!?
ああ…いや …くそ! いいか!?
あんたの行動如何で義兄さんの人生が終わっちまう……
どうあっても悪者は義兄さんになっちまうんだよ!

諦められるわけがない
うちのお腹には――二人の子供が居るのに

この子のことを知ればきっと幸司くんも……！

捜すんでしょ？

『こうし』って人
手伝うよ

あなたは……昼間の……

宮内
人間
〝消えてさえいなきゃ〟
なんとかなる
幸司くん…

うちの神社ね…代々
女の人が神主になるって
決まりがあるの
でもおばあちゃんも
お母さんも早くに死んで
私も病気が発覚して……

おじいちゃんは
いよいよ諦めちゃった
……だけど

やっぱり
私は続けて
あげたかったな……
おばけ神社なんて
呼ばれちゃって……
ご神体も盗まれて

ついには工事のために
御神木まで無くなって
……それでも
私―小さい頃
お母さんに何度も
聞かされて育ったから……

私たちの先祖…
村のために、
『神さま』になった
かわいそうな
女の子の……話

……だから幸司くんが
せめてここを綺麗な花で
いっぱいにしてあげよう
って言ってくれて──

なんだか私まで
嬉しかったんだよ……

紫乃……
喋らなくていい

紫乃……！

……さいごに……

ひとつだけ……

子供──

抱かせて
あげられなくて
…ごめんね……？

あの……もし　子供とか　できたら――……
僕だって……
できるなら貴女と
幸せな家庭を…！
それが…何もかも
こんな形で……
終わるなんて――
梨世……さん
ガラララ…
…ごめんくださーい
……
おお
鈴木さんとこの
……？
…
先日うちの娘が
失踪した件で宮内さんには
本当にお世話になって……
……
なんとお礼を言って
良いやら…
いやいや俺らは
当然のことをした
までで……
皆も自主的に
協力してくれた
だけですよ
ほらアンタも
自分でお礼
しなさい！

うっさいな
ママがおおごとに
しただけじゃん
私 もうガキじゃ
ないんだから
大丈夫だって……
〝あなたが万一
怪我でもしたら――〟
〝もーガキじゃないんだから
ダイジョブだって……〟
…梨世さんッ!?
何言ってんの!
アンタ捜すために宮内さんが
町中総動員してくれたんだよ
……
…りよ？
……？
あ……
……あらっ
今の方
確か紫乃さんの……
やだー私ったら
驚いてご挨拶
し損ねちゃったわ
お花屋さん突然の閉店で
びっくりしましたよ〜!
もしかして
どこかお体が……
いやなに
ただの夏バテだと
思うんですけどね
念のためこっちで
静養して貰って
るんですよ…
…
…幸司義兄さん
違うよ
部屋に
戻っててくれ

ギ…
……義兄さん

頼むよ
あんた一人の問題じゃねえんだ
……すまない…
物言いが梨世さんと似てたので……つい
そりゃ俺だって応援したいさ
けど相手が子供じゃな……分かるだろ？

万が一 宮内の名前に傷が付けば親族連中が黙ってねえ
そうなれば流石に俺も義兄さんを庇いきれねえよ
それに

あの子の人生も考えてやらねえと
今は良くても あんたはいつか年老いて先に逝く
あの子が十年二十年……下手すりゃもっと長い年月を孤独に過ごすハメになるんだぞ
……あんたならその辛さを誰より知ってるはずだ

義兄さんから
離れてやるのが
あの子のためなんだよ
離れるのが……
梨世さんの……
ため……
見つけた

どっ…
どこで!?
これ

そこで『こうし』って人の情報を募ってみた
いらっしゃいませー
今回は その子の目撃情報だ
被害者以外もたまにくるんだよね〜怨結びに興味があって教えて欲しい〜って人が

僕は以前 怨結びにまつわる被害者の会をやってたんだけど
コミュニティだけは今も残っててさ

こうし……『宮内幸司』
『宮内』はこの辺りの大地主で幸司は本家筋の娘婿だってさ
へーようするにお金持ちだ!

何が狙いだ
あ……
金か!?

今は花屋のあった家じゃなく別宅で『静養』してるみたいだけど……
!!
幸司くん…
どこか具合悪いの!?
いや

これはあくまで
その子の主観
なんだけどさー

その時の
様子は
『当主さんなのに
なんだか
肩身が狭そうで』

『まるで軟禁
されてる
みたいだった』
……ってさ

やっぱり…
あの義弟が
幸司君を…

無理矢理お店まで
畳ませて……
こんな…
ひどい…っ
悪いのは騙した
うちなのに…!!

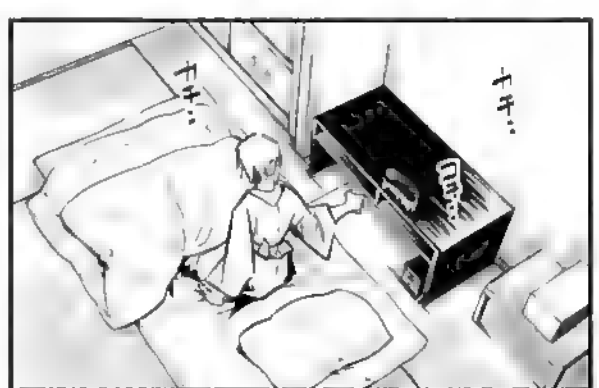
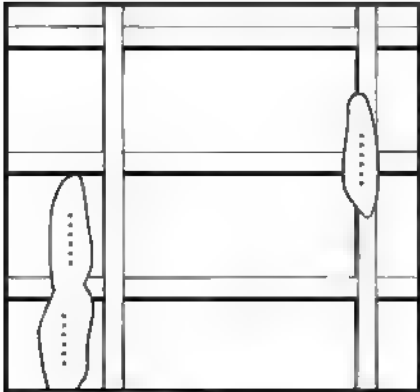
んー会うにしても
さすがに正門から
堂々と入るわけにも…
かといって
忍び込むには
家が立派すぎるしなー

……ここはやっぱ
あれしか
ないよね!

ひどいよね〜可哀相だよね〜？
お前な…情に訴えるつもりだろうが——
ひと目でいいから会わせてあげたくない？
え？そりゃ…まあ
いや…でもな
子供が出来たってちゃんと報告させてあげたいじゃ〜ん
……

報告っつっても——問題はそこじゃねーだろ
解決…はしねえよな むしろこじれるんじゃ…
かといって隠せばいいってわけでもねえし……

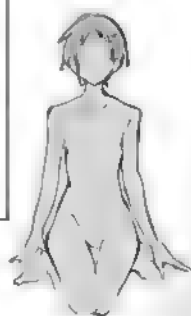
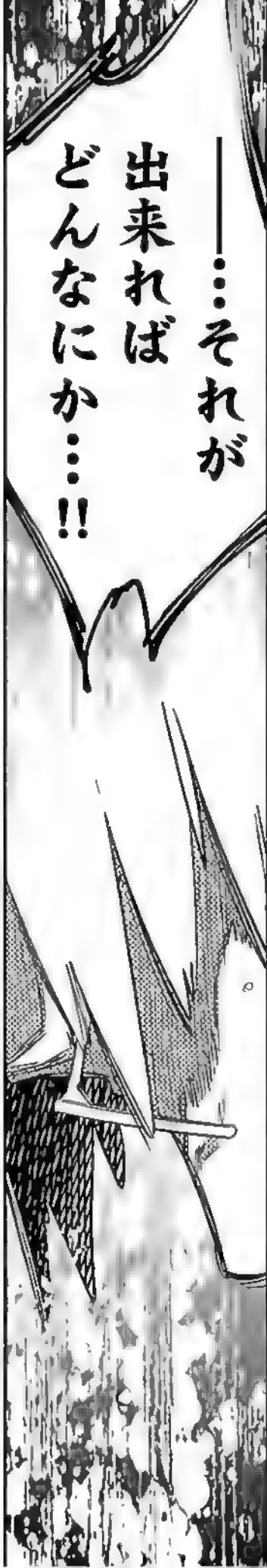
…………
ちっ……
…分かったよ
今回だけ
だからな!?

ギシ
ギシ…
……
……
誰か……
そこに居るのかい？
……こう…し
その…声
梨世…さっ……
くん……
……いや

あの子が こんな時間
こんな場所に 居るわけがない
だとすると これは夢か幻か……
……幸司くん
嘘ついてて… ごめんなさい
うちのこと もう…きらいに なった…？
……どうやら僕は よほど参って いるらしい……
……そんな ことないよ
何か…事情が あるとは思って いたけれど
……知ったときは 気付けなかった自分を恥じたよ
何もしらず
君に取り返しのつかないことを してしまった……
まさか 高校生とはね……
どうして……
どうして… 高校生じゃダメなの？

……いけない——

『これ』は……きっと僕の弱い心が見せている願望だ

ここで己の欲に負けて答えを出せば

一人の女の子の人生が——

梨世さんの人生が
僕に食われてしまう
僕は――
……僕は
……やっぱり駄目だと思う
……！

――甘えを捨てなくては

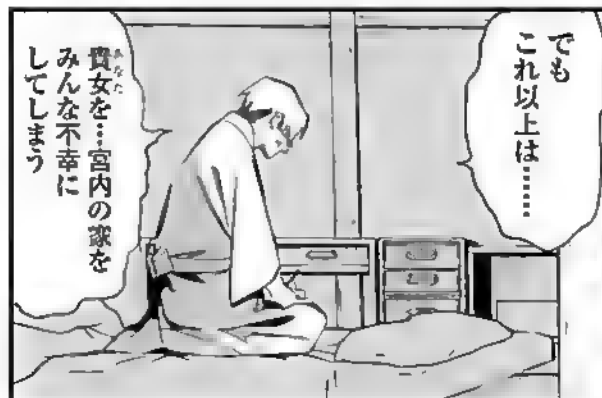
――でないと僕の身勝手で 梨世さんが 宮内家が 多くの人間が不幸になる――

——あれは願望だ…全てを捨てて梨世さんを手に入れたい僕の醜い欲望……

それが彼女の幻となって都合の良いことを言わせているだけなんだ

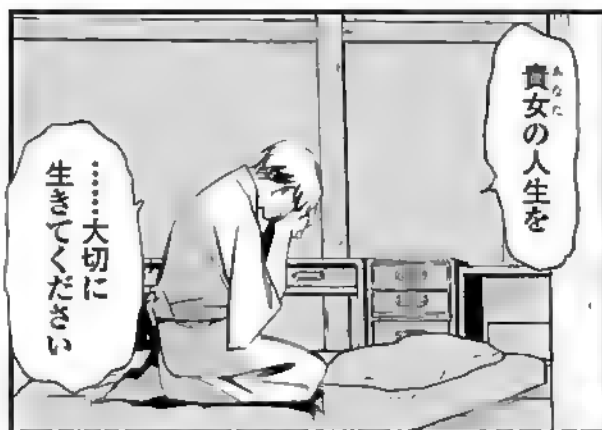
こど…
もう……消えてくれ!!

もう…僕の中から消えてください……
頼むから……

………
……梨世さん…

あなたに出会えて本当に良かった……
でもこれ以上は……
貴女を…宮内の家をみんな不幸にしてしまう

どうか僕のことは忘れて……
貴女の人生を
……大切に生きてください

僕の残りの人生は……
あなたと…紫乃の思い出があれば
それだけで充分ですから……
…
……
……さようなら
……幻でも
最後にお話が出来て…嬉しかったです……

……おっせーな
まさかアイツ
見つかっ
たっ…とお!?
あっぶねーな
もっと静かに
戻って来いよ！
家の奴らに
バレたら――……
だ…
だめだった……

しっしぃ…
信じてみたけど…っ
だめだった
あぁ…
あはっ
なっなんてぇ…
いうか？
こぉ…ゆう…
カンペキな拒絶って
いい…いうのかな
おおい──
痛っ…て!!
なんだ…!?
消えろ…って

だ ダメだって

言われちゃった

さよなら って…
はっきり
幸司くん…

幸司くんは

……！

なんだこれ

なんなんだ

……!!

気持ちが
悪い

吐き気が
する

こいつの感情が
なだれ込んで
きて――

ねえ…こんなこと
考えたくないけどさ

うち…なんか
おかしいんだ

好きで好きで
たまらなくて

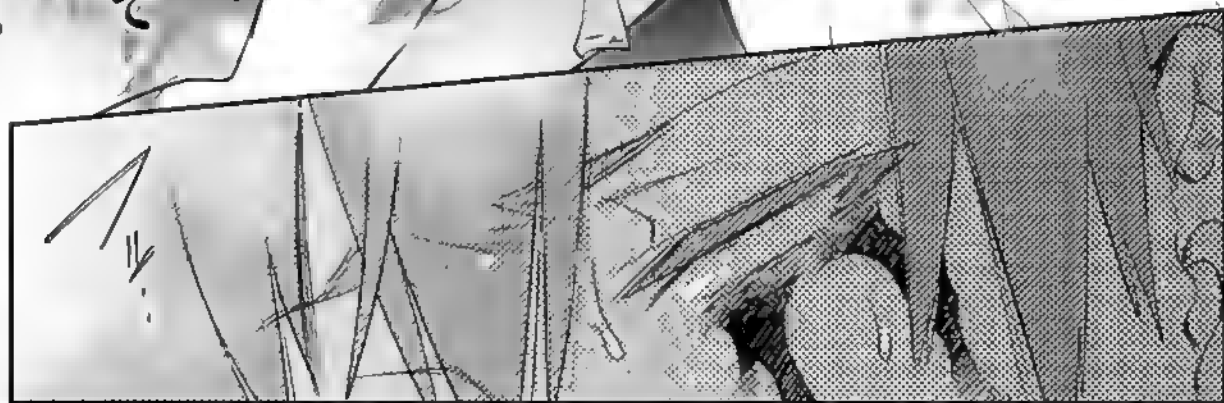
こんなとこまで
会いにきたのに

…

…

こんなに憎いなんて
……無理はするなよ
……馬鹿野郎
無理してんのはどっちだよ
……ああ
あいつ
いつも……こんなものを……

蛇はこんなにもドス黒い
人間たちの憎悪や殺意の塊を――

あの小さな身体で
何千何百と受け止め続けて
きたのか……

クビツリ──
…おい！
目を開けぬか!!
クビツリッ!!

?
?
意識のないまま
呪い人を連れて
きおって――……
ぼ――……
焦ったぞ……
呪い人――……
…あー
そういえば…
ぺり
ぺり
……あいつ
やっぱり怨結びを
受け取ったのか…？
……ああ
クビツリは
その呪い人を帰し
戻ってきたと同時に
倒れたのだ
ええ…？
……何も覚えて
おらぬのか？
はは……じゃあ俺は
意識もねえまま
お使いを果たしてたのか
いよいよパシリが
板についてきてんな

俺にも聞こえたんだよ

……呪い人の声が

蛇はいつも平然としてたけど

ぽふっ

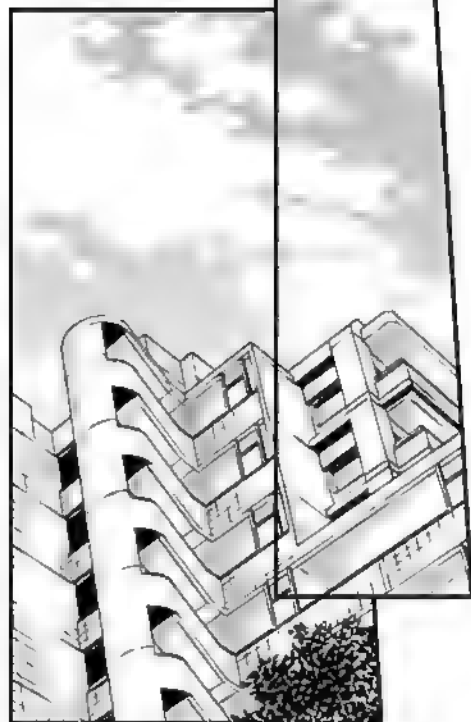
実際はあんなに辛かったんだな

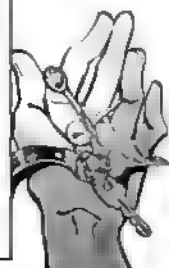
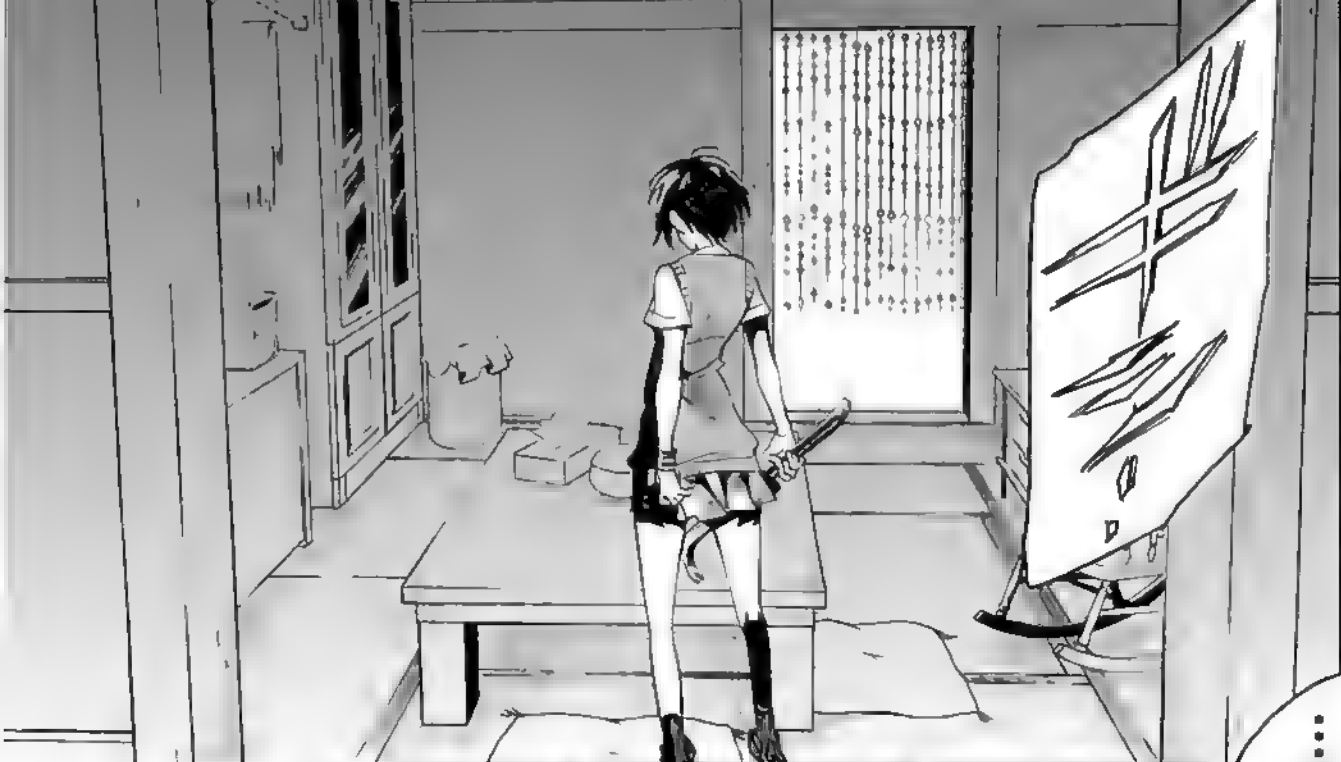
……気付いていてやれなくて悪かったよ

……っ

……クビツリと妾の感覚が共有されつつある……？

名無が店長の居所を特定できたのも――
角田梨世のおかげだからな
……
…ふん…まあそうかもな
……しかし
かつては色々あったものだが今は あのまがい物と随分仲良くしておるのだなぁ?
ん?
べっ別にそんなんじゃね…
なんなんだ急に

仮にも店主は宮内の当主だ
それに旦那なら嫁さんから何かしら聞いていても不思議じゃねえだろ
ああ…
……！いやしかしちょっと待て……
呪いが成立してしまったら店主は――
そういうわけだから俺は今度こそ店主に会ってくる
子供のことは子供同士でケリをつけてもらうさ
……どうせ親のあいつが知ったところで怨結びは止めようもねえんだ
……
ピキッ…
――そうかおぬし…呪い人の相手のことを――
あん？
いや……そうか…頼んだぞ

ああ…封印を解く近道が見つかりゃいいんだけどな
今は呪わざるを得ねえが――できるなら怨結びなんざ とっとと終わらせて お前を自由にしてやりてえし
……僕は
確認してどうしようというんだろう……
……………
そうだの…

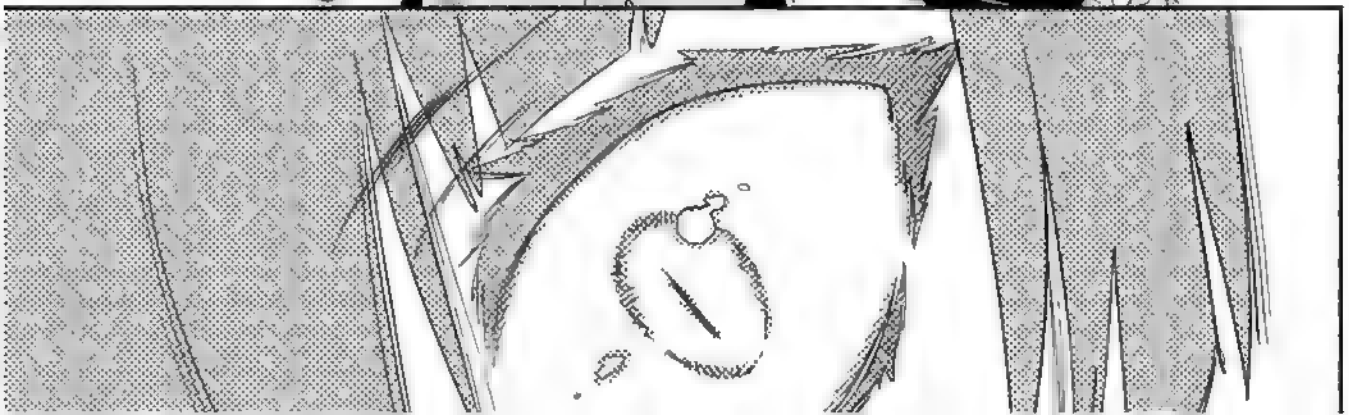
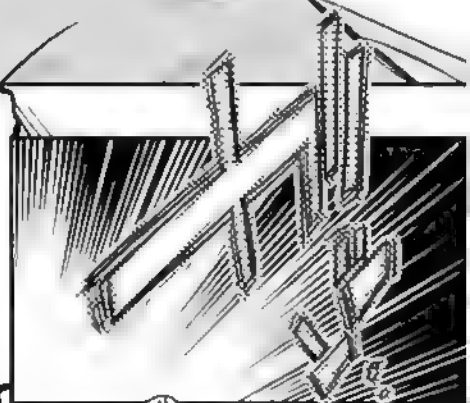
義弟の目を盗んでまで
戻ってきて――
これが本当に
梨世さんに渡した物かどうか
分かったところで
彼女とは……
もう――
……だけどもし
もしも あの幻が
本物の梨世さんだったと
したら僕は――
…僕は彼女に
なんて非道いことを……
チャリ
!
……
ドアが…？

…あっ
やっぱりここに来てくれたんだ！
幸司くん――
梨…世
さっ…？

何故――…
クビツリは明らかに勘違いしていたではないか
あの年の差ではあり得ないという思い込みだろうが
店主に子供などおらぬ
呪い人の対象は――『こうしくん』はあの店主本人なのだと
何故…教えてやらない？
妾は真実を伝えなかった…？
………
あの男が消されれば
神社や怨結びに隠された秘密への貴重な手がかりを
永遠に…失うかもしれぬというのに
クビツリに
知られたくない…のか？

妾の知らぬ怨結びの秘密があったとして

それが明らかになればその先に封印を解く方法が――

怨結びの終わりが早まるかもしれぬ

――終わり…

――怨結びが終われば
妾と奴の関係も……終わりを迎えるから――？
腑抜けが……っ
ボタ
ボタタッ

何が神だ!!
そんな理由であやつを裏切るつもりか……!!
今はクビツリとの約束を果たすためにも──
あ・の・男・を・消・さ・せ・て・は・な・ら・ぬ!!

くっそ
入れ違いかよ
あっちー…
とことん
ツイてね――……
出掛けたって……
あのマンションかぁ？
…つか角田梨世は
訪ねてきてねえのか
まさか また夜中に
忍び込むつもりじゃ
ねえだろうな
もうぜってー
やらねーぞ
――クビツリ!!
急ぎ店へ向かい
あの呪い人を
止めよ!!
はああ!?
なんだよ突然…
止めろって――
角田梨世の怨結びをか？
なんで？
ってか声
でけーよ!!
ハッ…
じろ…
じろ…
…で？
なんで止めなきゃ
ならねえんだ
まずいことでも
あんのか

そうだ――
奴を消させてはならぬ!!
妾たちにとって貴重な手がかりなのであろ!?

いや……
店主の男がな
俺の話ちゃんと聞いてた?
ええい
貴様こそ いつまで思い違いをしておる!!!

角田梨世が関係を持ち
今まさに怨を結ばんとしている相手こそがその男だ――
急げ!!
――ごめんね いきなり……
驚いた?

だけど裏口だからって
セキュリティがお粗末すぎ
お店に繋がってるんだから 警報くらいつけなきゃ駄目だよ
梨世……さ…ん
幸司くんはどうしてここに？
…なんてね
分かってる
うちが髪留め置いてきたから
気になってお店に来たんだよね
…じゃあ
パサ
やっぱりあの夜縁側に居たのは梨世さ——

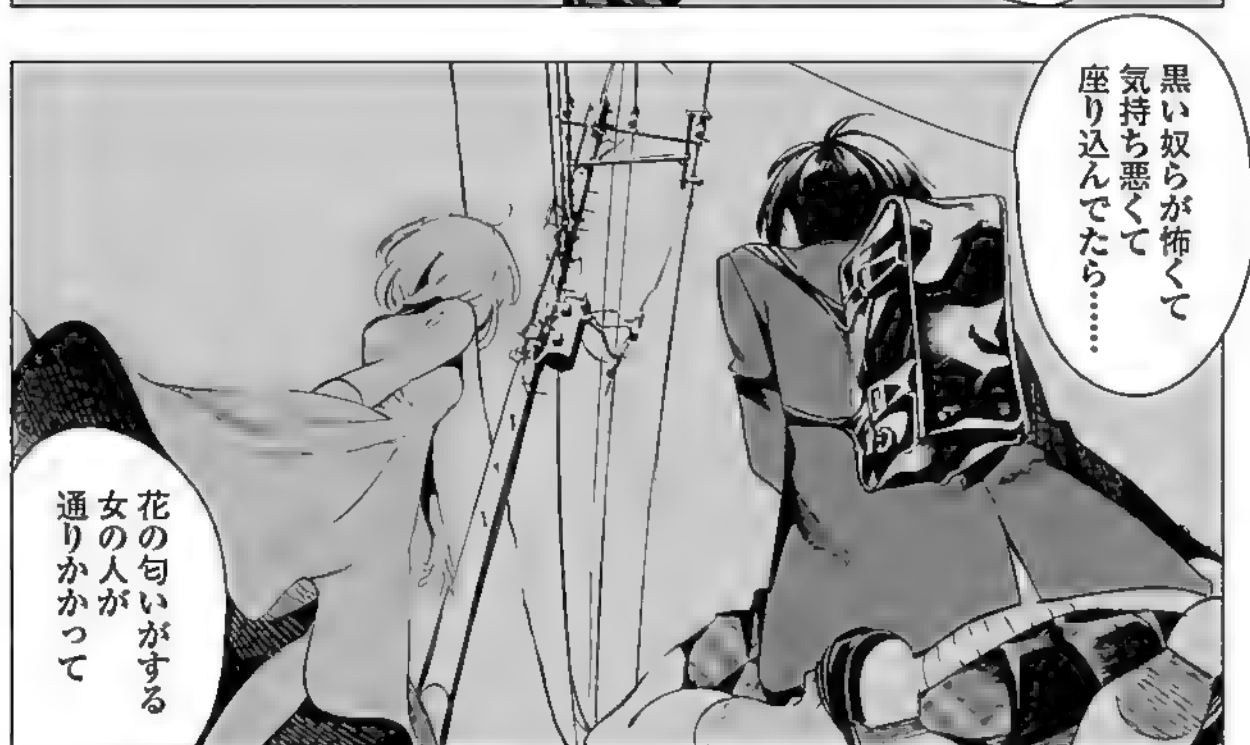
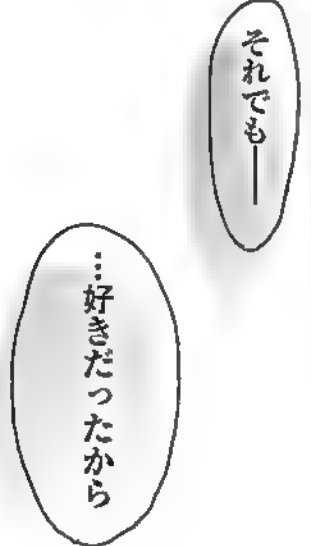
うちは昔から
他の人には見えないモノが見えちゃってたんだ

…『あの日』もそうだった

黒い奴らが怖くて気持ち悪くて座り込んでたら……
花の匂いがする女の人が通りかかって

その・・・人を追ってたらこの店に辿り着いたの

今もそこで
うちらのこと見てる
『しの』さんの
ことだよ
……紫乃が
そこにっ…？
幸司くんが好きな紅茶とか
全部しのさんを見て
覚えたんだ
それで幸司くんに 自分は
奥さんの生まれ変わりだ なんて
嘘ついて取り入ったりしてさ
……サイテー
だよね
それでも──
…好きだったから

ギッ
梨世さん……
駄目なんです…
本当に──
だからそんな幸司くんに
消えろって言われた時はホントに
消えちゃいたいって思ったよ
嘘だらけでずるくて
自分勝手なうちは……
そう言われるだけの
ことをしてきたん
だから……
…梨世さん
違うんです!!
あの言葉は──
でもちょっと
意外だったな……
幸司くんでも
うちより世間体を
取るんだね
……ッ
…それも
仕方ないかな
きっと大人の事情が
あるんだもんね
だけど
うちはその先の言葉が
許せなかった──

なんで……
なんで未だにしのさんとうちの思い出が
同レベルなの…？
20年も前に死んだ人と変わらないってどういうこと…!?
散々愛してるとか言っといて……
うちには幸司くんただ一人なのにそんなのずるいじゃん!!
『きっとひどく心を痛めて』
『うちと愛し合ったことうちを捨てたこと』
『後悔に後悔を重ねた挙句』……
…でも――
…幸司くんは優しいから…
…もしかしたら死んじゃうんじゃないかって…怖くなったんだ

ジュル…
だって死んだら幸司くん……
しの・さん・と同じ・ところ・に行っちゃうじゃん
それだけは許せないから
…んっ❤
うちと幸司くんで『怨結び』しよって決めたんだ…❤
え…ん
結び…？

確かに…聞いた
むかし…
紫乃の言っていた――
あの
『怨結び』…
本当に……!?
んっ♡
ん…
はあ…っ
あ…っ
はっ
ぢゅぽ…ん♥
はっ
できる
うちなら…
できる…っ♡
『うちのなかにはもう幸司くんが居るから』……
できる…
頑張れる…
…僕が…
居る…!?
最後に幸司くんとひとつになれるんだ…
からっ♡
きっと大丈夫…!
幸司くんがうちだけのものになってくれるなら
そっちの方が良い――!!

おいっ
角田梨世!!
居るんだろ?
ちょっと待ってくれ!!
おい!!
…くそっ
やっぱ反応しねえか…
もっかい神社に戻って
店ん中に飛んで――…
って間に合うのかよ これ!?
梨世さん
待って…
待ってください
今の話は
どういう意――
っん!
……待たない

駄目だ!!
クビツリでは——
間に合わない

もう……
こうするしかー
あ！
っあ…！
こうし…
っく…っ
なか…に
……っ

っし
そんで次
店内に直接――…

蛇(くちなわ)…
ザッ
蛇(くちなわ)！
おいっ起きろ！
何があったッ!?
なんでこんな…
お前は死んだりしないはずだろ!?
返事しろよ!!
おいっ目を開けろ!!
蛇(くちなわ)………!?
なん…だこの髪っ……
名無みてえに色が抜けて…
まさか…ホントに死っ…

うわあああああ
おっ…おま…
脅かすんじゃねえよ!!
からかってんのかてめえ!?
………
?
すぅ…

はじめまして
おにいちゃん♡

第三十九節❖蛇と紅
いっっっ たあ!!
ぱっ
いっ…たあー……
ひどい…ひどくないです？ 女の子にこの仕打ち……
蛇…だよな？
見た目といい口調といい…どうした突然
頭でも打ったか

蛇・・・？
くちなわ・・・
・・・ああ！
そういえば
そう名乗って
おったか です☆
ぶーっ☆
『蛇』!?
全然かわいく
ないわー です
そう思うだろ です？
死体のお兄ちゃ――
いいから
答えろって!!
いったい
どうしちまった
んだよ!?
お前
さっきまで――
……『お前』？

不敬だぞ。
身の程をわきまえろよ
人間の死体風情が
あっいけないいけない
別に怖がらせたいわけじゃないのだ です☆
んんん言葉って難しいの…です
それはさておき

初めまして死体のお兄ちゃん

吾はコウ

『紅』と書いてコウって読むのだ です

好きに呼ぶがよい です☆

死体のお兄ちゃんのことは『蛇』の中からずっと見ておった ですよ

はじめはなかなか面白い『実験』をしておるなと感心してたが です…

どうやら蛇自身何も知らずにやってる？

あれ？ こやつらもしや馬鹿か です？

ってことにやっと気付いたのだ です

？ ？ は…？ 「コウ」……

…だって？

さっきからそこに隠れておる　ですよ☆
く…ち
なわ…？
蛇(くちなわ)が…
いや――こっちこそ俺のよく知る蛇だ……
髪も黒いし
――なのに…なんだ？
二人…!?
小さく震える背中はまるでごく普通の…
……務めを放棄し
死体のお兄ちゃんとの『約束』のために呪いを引き剥がすとか

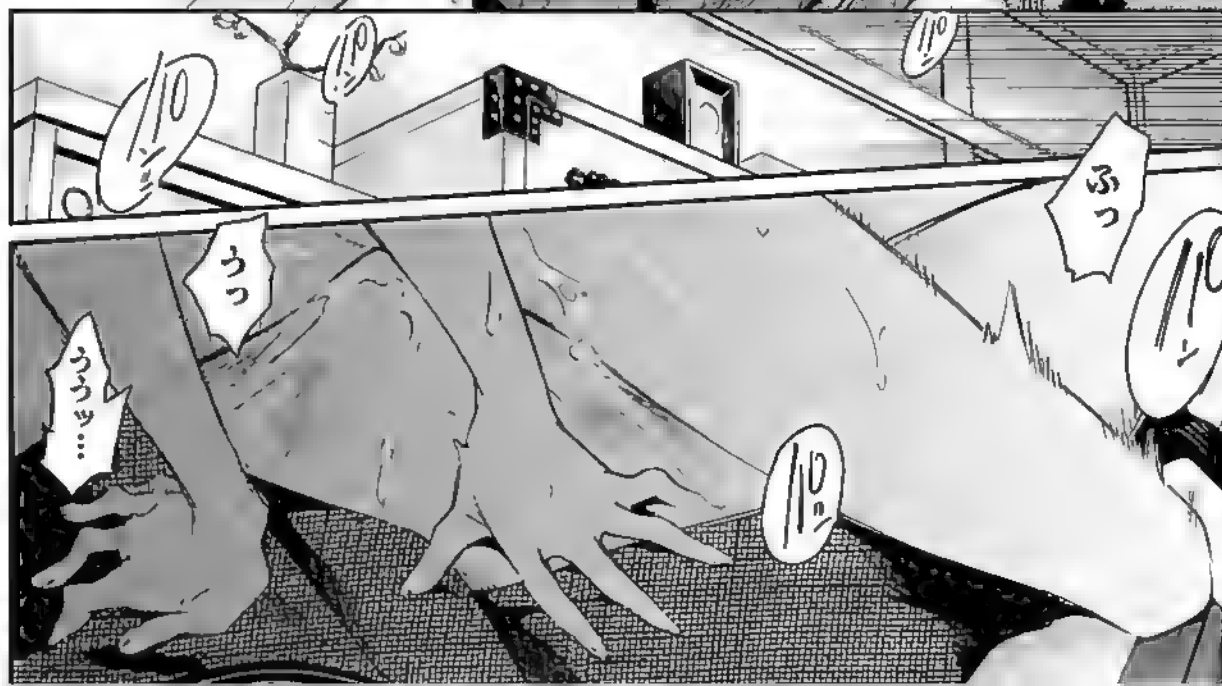
馬鹿か？お前☆
おい!?
何してんだ…
たかが器の死体に入れ込み
目先の欲で後先も考えぬとは
しょせん元はただの人間──ああ
呪いを……引き剥がした!?
……じゃあ宮内の当主は無事なのか──
牝らしく発情して雄との交合でも期待してたのか です？

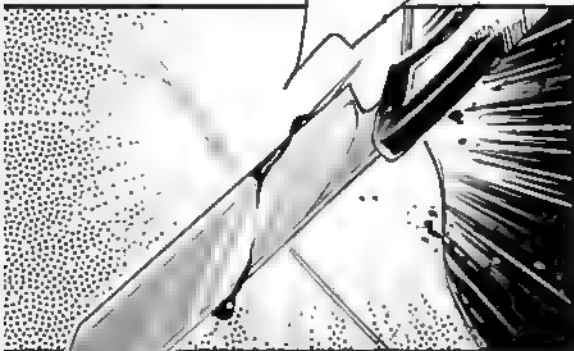
それ以上言ってみろ……
八つ裂きにしてくれる!!!
無駄ですよ
そんな力もないくせに
ぺんっ
――っていうか

お前もう神失格だから
!!
蛇(くちなわ)!!
放っておくが良い ですよ☆
ポン…
喜べ☆
だって死体のお兄ちゃん
死んでまであれを『神社から連れ出したかった』のだろ です?
夢が叶ったのだぞ です

何…言ってんだよ…
叶っ…たって
わけ分かんねぇよ!!
蛇はどこに…
あいつはこれからどうなる!?
現世のどこかで人として朽ち果てる
それが自然の摂理だですよ
人…?
蛇……が
こんな……突然あっけなく
何の前触れも無しに――
妾の願いが叶うまで生きるも死ぬも許しはせん
もう…
貴様はこれから人をかき集めてくるんだ
怨結びを終わりにせぬか

俺たちの怨結び(えんむすび)が終わったって言うのかよ……!?

なんで……
なんで！
何度やっても
結ばれないの…
『怨結び』できないの!?
どうしてっ……
話が違うじゃん!!!
りよさん
もう
…やめ…っ
…っ!!
う…
……
はぁ
はっ
………

の
呪いなんかなくたってっ……
どどうせ失うなら
せめて…
今
うちが…
…うちがっこの手で……
梨世……
さん…
……ああ

あの健気な子を
ここまで追い詰めてしまった
全ては僕の――
僕の命になんの
価値もないけれど
それで梨世さんの心が
少しでも晴れるなら
――…
…は…
はっ
は――……

ドクン…
ドクン…
……!!
……
いや…
やだよ……
──……
……
できない…
こんな……
…梨世…さん
泣いて……?
うっ…うちの
目を通して今も
この子が
見てるのに……

最後に見るパパが
ママに殺されて死んじゃう姿だなんて……
そんなもの…
見せられるわけない……っ
なんで……
なんで…こんなことに…っ
『この…子』？
……梨世…さん
まさか──
…まさか
そのおなか…に……
パ
ラ

!!
こっ…し
く…？
なに……
うそっ……
いや──
いやあああ!!!

……え……
ひ…
げ…？
パラ
パラ
その…ひげって……確か
コト
しのさん以外の女の人を寄せ付けないため の……
…なんで……
……ああ

そんな大事なことを知っていたら――
…いや
どれだけ年が離れていようと
知っていようがいまいが
周りが何を言おうと
初めから…僕は諦めるべきじゃなかったんだ…
……それなのに僕は貴方を――
見捨てるような真似を
僕が梨世さんを愛した事実は決して変わりはしないのに……
そして今また
こ…

貴女の痛みが少しでも…癒えるなら

それも本望だなどと

貴女に殺されることを望みすらした…

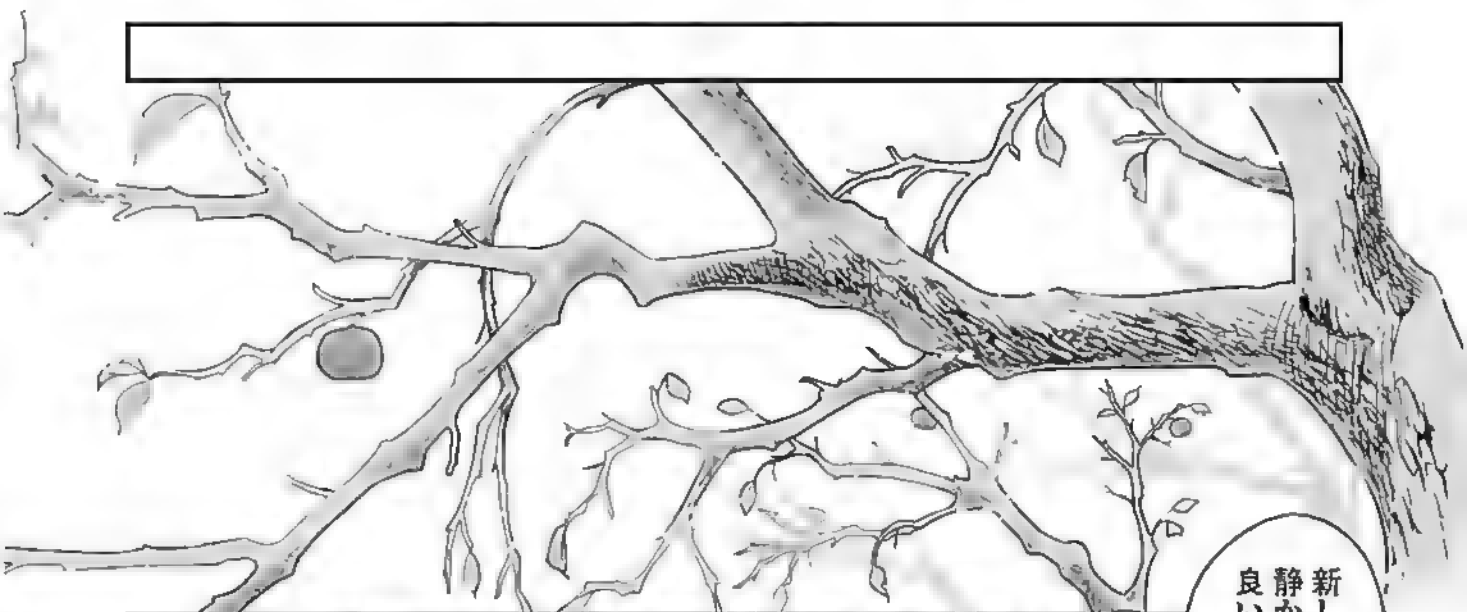
そのために貴女の手を血で穢してしまうことも…

そんな貴女とまだ見ぬ我が子を見捨てることも気付かず

自分一人が消えたところで何になる…

僕は……大馬鹿だ…!!

梨世さん
僕はこの先
あなたと——
僕・・・・・・・・・・
僕たちの子どもと
3人で人生を……
共に過ごしたい
僕と結婚……
して
くださいませんか……
〝僕と結婚してくれませんか?〟
以前もくれたプロポーズ……
だけど今回は
『あなたと
僕たちの子どもと
3人で』……

……はい……
ごめん……
ごめんなさい…
うちの方こそ
許されない…
なんで…
こんな
呪おうだ
なんて……っ
…梨世さん
『怨結び』…
いったいどこで
その話を——
……
それは…
!
梨世さん…?
無事……
だったんだな

幸司く…ん
あの…
この人が…
怨結びの…
君…は——

新しい家は静かな…とても良い場所ですよ

仕事先も僕の嗅覚を知った先方が

視力関係なく是非にと歓迎してくれてね

そうそう

家のすぐ側には浜もあって いつでも散歩できますよ

ほんと!? 楽しみー♪

この子にもはやく波の音を聞かせてあげたいよ

でもね

正直うちは幸司くんが居てくれればどんな場所だっていいんだ——

なんでかな……
気付いたら町中に溢れてた黒い奴らが見えなくなってたんだ
あの日 しのさんを追いかけて入った
幸司くんのお店に黒い奴が一人も居なかったみたいに
しのさんが何か関係してるのかな…？
それとも──
…!!
幸司くん！あそこに──
？

紫乃!?

ガタン…

ガタン…

……笑っ……て
た……

まさか
君は
はじめから

……そのつもりで
梨世さんと僕を
――……

……これで良かったんだよな…
お前が身体を張って宮内幸司を救ったおかげで
蛇
俺のことお前のこと色々聞けたんだ——
なあ…蛇
お前は今
何処に居るんだ…？
ザ
ザ

――『コウ』とやらの言葉を信じるなら
蛇は『解放』されたことになる…
本来俺たち二人の目的は
蛇を縛る封印を解き
『取り戻した縁結びの力を用いて呪いの犠牲者たちを救うこと』
だったはずだ
それが現状はまるで――
おかえり
死体のお兄ちゃん☆
だが

「神として不要」とされた
蛇に取って代わり
得体の知れない何かが
残っただけだ
――ひとつ…
大事なことを
言い忘れて
おったのです
吾は人々の望むままに与え
時に尊い畏れ祀られる――
正しくあるべき
神なので
怨結びを終わらせるつもりも
怨結びをなかったことにする
つもりもさらさらないです
犠牲者を救う？　なんて
呆れてものも言えぬ　ですよ
結果がどうあれ
奴らは救われるため自ら
望んで怨を結んできた――
であろ？　です
なにより

一つ 分かったことがある

神から見たら人間なんて正直どうでも良いのです
呪いが尽きる？尽きたら作れば良いのです☆
永遠に終わらせぬ ですよ だって吾は怨結びの神なのだから
こいつは怨結びを終わらせるつもりが1ミリもねえ――

…と いう わけなので これからもたくさんたくさん怨を結ぶから
吾を手伝って欲しいのです☆
なら俺のするべきことは決まってる

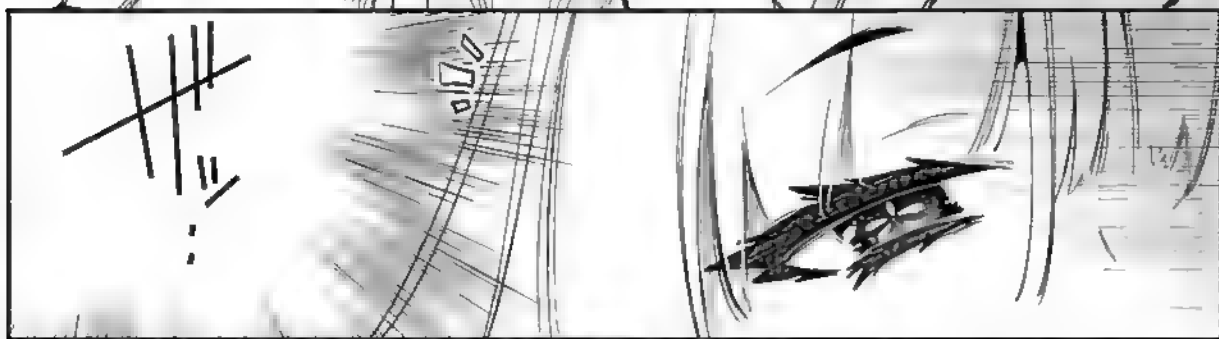
……ああ
手伝う代わりに俺からも一言言わせてくれよ

やっぱお前とは合わねえわ
地獄に堕ちろくそったれ
どこかに居る蛇を探し出し
……クソガキが
こいつを再び舞台から引きずり降ろしてやる
そして怨結びは
蛇と一緒に終わらせる
――!!

第四十節❖愛怨奇縁

スル…

ほぅ…♪
……なんだ？
呪い人も居ないのに
また出掛けるのか？　です
死体のお兄ちゃんはもっと
吾と親睦を深めたくは
ないのか　ですよ
俺らが顔突き合わせた
ところでお互い
不快指数が上がるだけだろが
…俺が何を聞いた
ところでどうせ
答える気はねえんだろ？

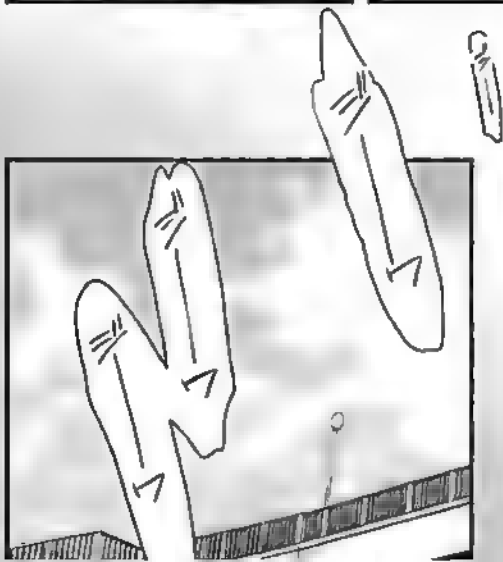
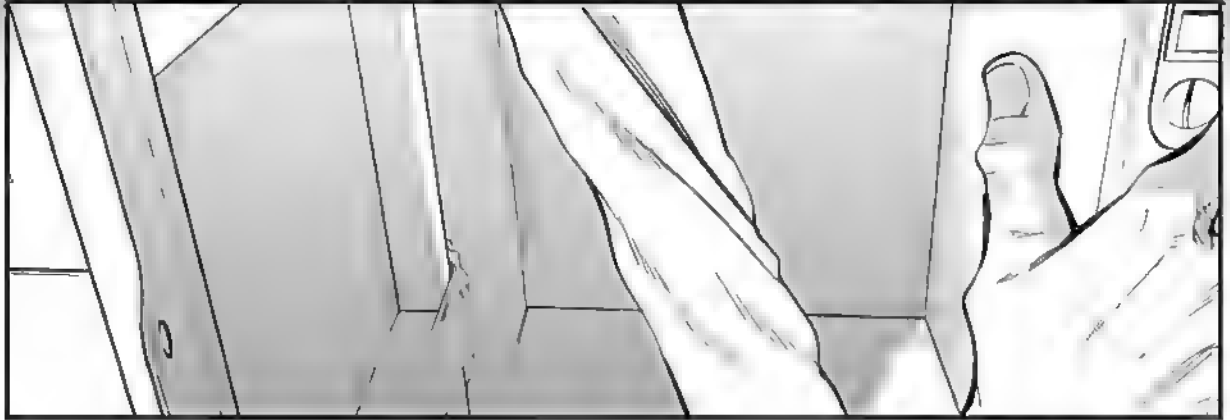
ん～～～～
そうですね～☆
呪い人100人くらい連れてきたら
全てを話してやってもよいですよ☆
………
……無駄だ
何時 何処に
落ちたかも判らぬ
ただの人間に成り下がった
アレには
もはや何も出来ぬ
いい加減 目を
覚ませよ 馬鹿が
……です☆
諦めて吾に仕えるのが
利口だぞ～ ですよ？

俺の相棒は『蛇』であって『紅』じゃねえ
それにな あいつには勝手に一人で自由になってもらっちゃ困るんだよ
俺との約束はしっかりと果たして貰う――
怨結びは終わらせるし全ての犠牲者を救い出す!!
……あいつがそう言ったんだからな
……ひとつだけ
別に答えなくてもいいけどよ

紅が出てきたのは 今に始まったことじゃなく
……実は最初からいくらか自由に動けてたんじゃねえのか？
それも・・・下手すれば・・・俺が死んで蛇が目覚めるより・・・ずっと前から――
……ご名答
そこに気付いたってことは宮内幸司から何かいい話が聞けたのだな？
たいしたものだ ですよ！死体のお兄ちゃん☆
……まあな
――……ふーむ あの様子だと呪い人からは何も聞かされておらぬのか……です
あの娘の「目」を奪ったのは恐らく宮内のお役目――…か

……くっ
なんでかな…
気付いたら町中に溢れてた黒い奴らが見えなくなってたんだ
まるでひとの形態をしてない
バケモ
みたい
ふふふ……

宮内の巫女はよほど角田梨世を守りたかったらしい――……ですね？
……無理もない

あれは呪いの権化そのもの
人間がまともに『視て』しまえば――壊れてもおかしくないからの
……です☆

ニヤ
ふー……
無事だった
みたいだな
ザワ
ザワ
ザワ
さすがに幽霊よろしく
消えたりはしねえか
しっかし……
神社じゃあんな
バケモノみてーな
大木が
現実世界じゃ
これっぽっちしか
残ってねえとはな……
ジーーワ
ジーーワ
ジーーワ

梨世さんが
『怨結び』の言葉を
口にしたとき――

君のことを
思い出したよ

!

ゴ――ウ

ゴ――ウ

……

もしかしたら あの時君は
本当に無事 神社に行くことが
出来たんじゃないかって

……生きて
いたんだね……

それも当時と全く
変わらないようだ……

……

…残念ながら
『無事』ってわけでも
ないけどな

こんな話信じなくても
構わねえが…俺は一度
死んでるらしいし
変わらないのは
そのせいじゃねえかな

—…

……そう…か
…いや どんな形であれ
こうして話せて良かった…
それと悪いが
俺は昔のこと
覚えてねえんだ

だから
あんたの知ってる
ことを教えて欲しい

……印象深かったので
よく覚えているよ……

僕はあの日 君に頼まれて御神木を渡したことをずっと後悔してたんだ
君を死なせるきっかけを作ってしまったんじゃないかってね……
御神木？
……本当に何も覚えていないんだね
当時の君は僕にこう言ったんだ

『子供の頃 神社で出会った女の子と』
『ある約束をした』

『なのに彼女を裏切った』
『近所の子供の言いつけで神社の物を…』
『朽ち果てた縄をひとつ持ち出してしまったんだ』

『それが御神体だと気付いたときには』

『全てが手遅れだった――』とね

縄……

……御……神体？

『まさか自分のせいだなどと思うはずもなく一時は荒れに荒れたが』
『不幸は収まらず最後に残った友人も借金を残して消えた』

勿論その線は当たっているところだが
ただ…どうもよくない繋がり
あったようだ
…………

『頼れるものも無く脳裏に何度も死がよぎる絶望の中――』
『やがて運命の時が来た』

ある晩
夢枕に現れた
件の少女は

忘れもしない――
あの日あの頃のままの姿で

俺にこう
言ったんです

どうか
神社の跡地に残された
御神木と御神体の縄を
届けておくれ

そなたの不幸の元凶は
神社から持ち出した赤縄(せきじょう)なのだ

…すまぬ……

だとすると――
……当然 僕も全てを信じたわけじゃない
でもね……怖かったんだ
紫乃……生前妻に聞いた話…
『村のため犠牲になった少女』
村人たちによって人為的に引き起こされた『怨結び』という呪い
その少女の御霊と呪いが再び起きることのないよう
鎮める宮内家の女性の『役目』――
そして『盗まれた御神体』
……それら全て符合する点が……

……怖く
なったんだ
だから…あの時
僕は君にっ……
――成る程な
色々 分からねえ部分はあるが
……大体は把握できたよ
生前の俺に
そんな経緯が
あったとはな……
……
すまない…
なんであんたが
謝るんだよ
聞いた限りじゃ
俺の自業自得にあんたを
巻き込んじまっただけだ
……むしろ
謝るのは俺だ
俺みたいなクソが
御神木と縄を使って
勝手に自殺なんかしちまって
その上 怨結びを
再び引き起こして
しまっ――…

けど今の話じゃ
夢枕に立ったという『少女』が
まるでそうなるよう仕向けたかのような――

それで……君は
『約束した女の子』とは
会えたのかい？

へ？

ああ…その
なんだ

まあ
…会えた……
のか？

………

――本当に 約束したという
相手が蛇だったとしたら

生前の俺は
自ら命を絶ってまで

あいつに
会いたかったのか――……

……

……いや
ない
さすがに
それは
ねえわ

それじゃ
まるで俺が
あいつのこと――
力になれなくて
本当に申し訳ない
結局僕たちは
何もできなかった……

最後になって
しまったけれど
これを君に

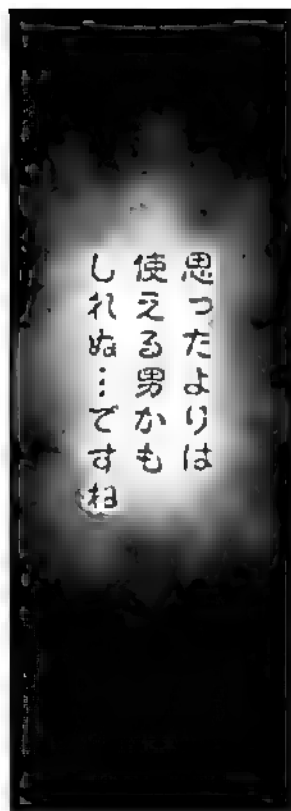
……これは？

一度君に渡し……
君の死体が消えた後
現場に残されていた
御神木の枝だよ

とうに
お役目も居らず

神社も守れなかった
僕が持っていても
もう仕方のないものだ……

……これも蛇を
取り戻すのに何か
役立つかもしれねえ

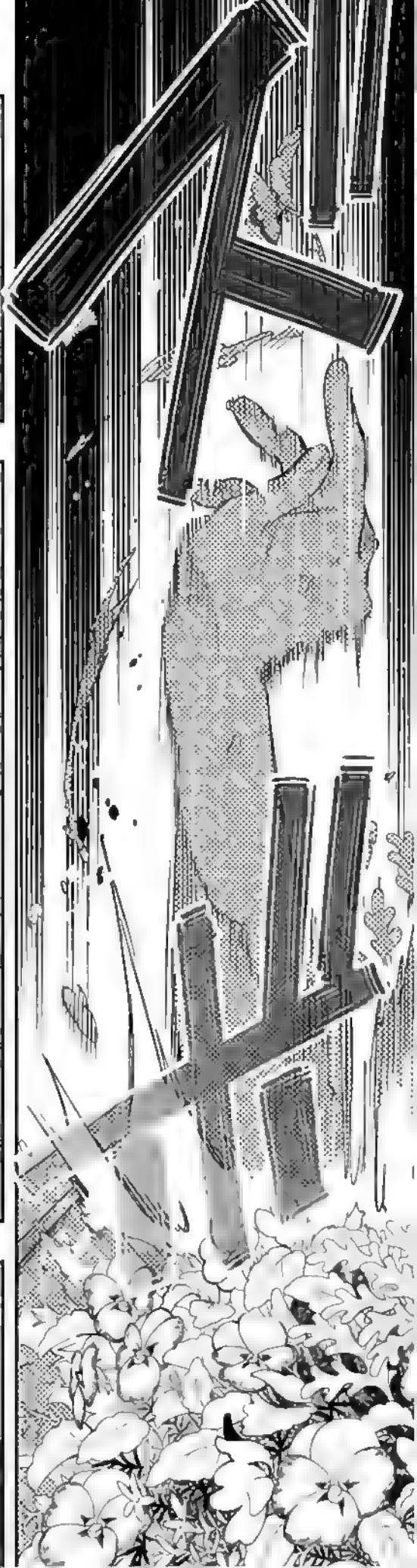
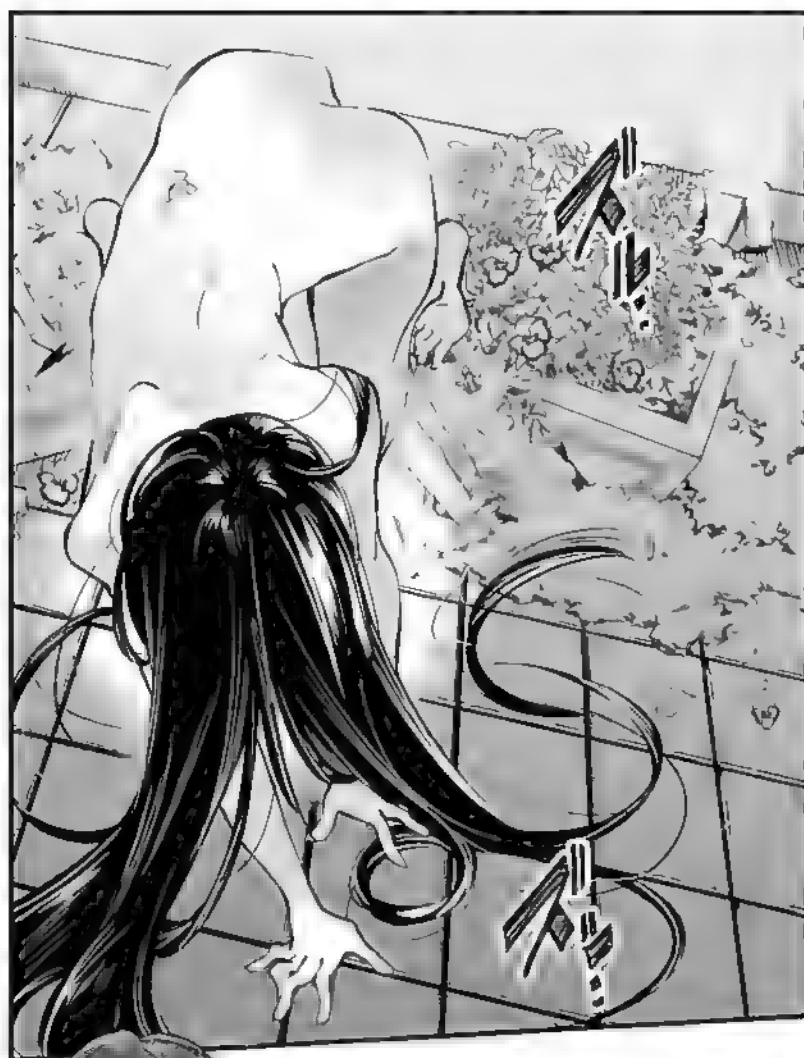
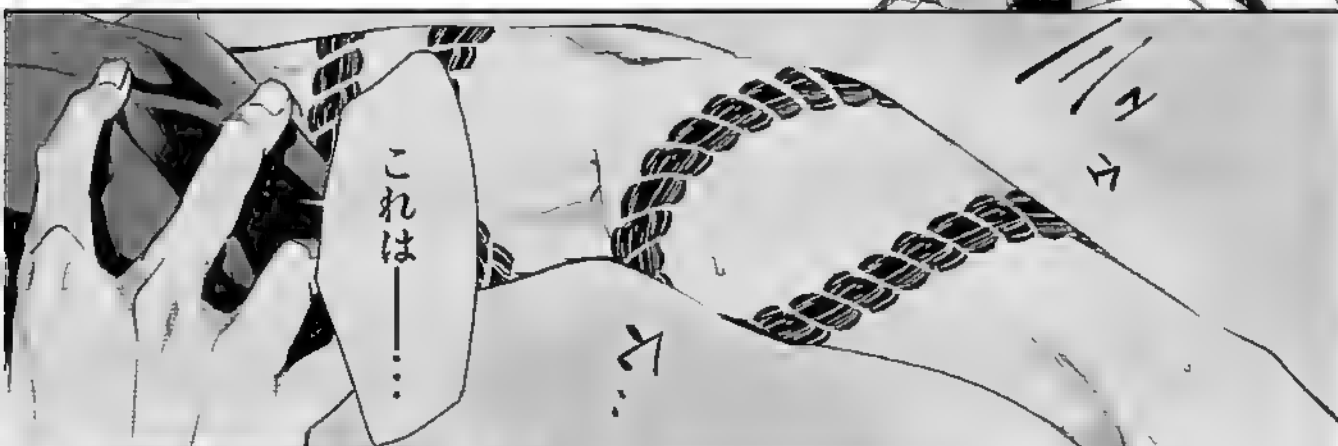
念のため
紅には隠して
おくべきだな――

死体のおにーちゃんッ
わああああ
は!?
あれ!?
神社!?
なんでだよ!!
と いうわけで
吾は御神木を手に入れた死体のお兄ちゃんを見直したのだ! です☆
喜べ☆吾の中で株価急上昇だ ですよ☆☆☆

覗き見してんじゃねえよ
馴れ馴れしいのも腹立つからやめろ
あと次 強制召喚したら
タダじゃおかねえ
にゅふふふ☆
で
人をわざわざ
連れ戻して何の用だコラ
死体のお兄ちゃんに
チャンスをやろうと
思ってな？ です☆
……チャンスゥ？
それも死体の
お兄ちゃんの働き次第
だが――……
です☆

ぺたん…

………
はっ…
は…
ここ…は……
神社の…外……
…か？

ひッ!!!
人間の…
腕!?
花の中に
植えるなど
なんという…
悪趣味…な――
……

この……呪いの跡は――
ズ
ウ
これは――…
ど…
約束したであろ？
これで貴様は妾を消す刃を得た…
妾のためだけの呪いだ

クピ…ツリ……
なのか?
くちゅんッ
……!?
……っ
……なぜ…
こんな ところ
に……
……
…

きゃああああ
クビツリさんがあああああ!!
ちょっとあなた!!
どこから侵入ったか知らないけど
こんなことしてただで済むと――…

……あら？
その顔……
わあ……！
もしかして
わざわざ私に殺されに来てくれたんですか!?
蛇……さん？

乙梨(おとなし)
叶(きょう)…!!

蛇を堕として
みせよ
と
言ったのです
ばっきゅーん
☆

アレを見つけて
たぶらかしてこい

見事堕としたなら
吾は再びアレに神の座を
譲ってやっても構わんぞ
……です☆

『神さまの怨結び』第⑦巻／完

to be continued……

ここまでお付き合い頂きありがとうございます。
怨結びも、はや7巻。梨世編も無事、完結です。

◆角田梨世 編

ハッピーエンド寄りの本エピソード、もともと構想初期では怨結び成就回避するかしないかは五分ってとこでした。つまり幸司くんも普通に消えるルートがあった。なので、そちらの結末も一応考えてはいたのですが…彼や紫乃さんが蛇たちの本筋に関わってきたことと梨世ちゃんが呪いを貰うまでにクビツリさんが幸司くんに接触できなかったことから呪い回避のルートになりました。

ヒロインの周囲だけで進むエピソードであれば滅多にこういう話の作り方にはならないのですが、クビツリさんや蛇の過去といった本筋のキーになる要素が絡み出すとそれら次第でも呪い人の行く末が変わったりするので、私自身正直最後までどうなるかわかりません。神のみぞ知る。

39節と40節の間でちょっとした後日譚の一コマを描き下ろしてますが、梨世ちゃんは出産後新天地で復学してますね。学業と育児の両立は容易でないので当然助けあっての生活(幸司くんのご両親かはたまた…)でしょうが、それでもどんな境遇であれ普通に学校通えたらいいな、という願いがこもってます。

余談ですが、出番がほとんど無いわりに紫乃さんは周囲から謎の人気がありましたね。結局彼女の目的は自分と宮内の家から夫を自由にしてあげたかった(のかもしれない)、という裏設定があるのですが本筋ではあんまり描けてませんね。故人ゆえに直接語ることもないですし。

諸々の真意はどうあれ紫乃さん自身は結構お茶目な女性だったんじゃないかなーと思ったので描き下ろしではピースしてます。幽霊とはいえ力ある宮内の巫女さんなので蛇さま関係で再びまみえることもあるかもしれないし、ないかもしれない。

新章では立場がガラリと変わる蛇さま、白い蛇さまモドキ、そして満を持して1巻以来のメインヒロインの一人が登場…ということで次巻もかわいい女の子満載でお贈りできそうです。どうぞお楽しみに。

KAMIZUKI SHIKI
❖Special Thanks(敬称略)
ガエル紳士/奈春/ぴーぽ
担当H野
❖守月史貴公式サイト『かみしきのアレ。』
http //kamishiki.net
Twitter Kamizuki_S1

たとえ神さまでも私の恋敵になるのなら
殺せるでしょう？
ごめんなさい…
ごめんなさい
私は役に立てないの
女子会!?に
ご期待ください♡

神さまの怨結び8
かみさまのえんむすび
女のことは分かんないけど
ママを通じた感覚なら覚えてる
いったいどんな状況だこれは??
神さまの

神さまの怨結び

かみさまのえんむすび

電子特装版

神さまの怨結び 7

かみさまのえんむすび

限定特別画集

守月史貴

Champion RED Comics

KAMISAMA NO ENMUSUBI
Presented by KAMIZUKI SIKI

KAMISAMA NO ENMUSUBI

Presented by KAMIZUKI SIKI

KAMISAMA N
Presented by K

KAMISAMA NO ENMUSUBI

Presented by KAMIZUKI SIKI

KAMISAMA NO ENMUSUBI

Presented by KAMIZUKI SIKI

O ENMUSUBI
AMIZUKI SIKI

KAMISAMA N
Presented by K

神さまの一発芸

神さまの一発芸

神さまの得意技ァ
なんだこれは…~っ
神さまの縁結び
7
お買い上げありがとうございます!!
2014
足が器用
KAMISAMA NO ENMUSUBI
Presented by KAMIZUKI SIKI

神(かみ)さまの怨結(えんむす)び 7

2019年2月1日　初版発行

著　者　守月史貴（かみづきしき）
©Shiki Kamizuki 2019

発行者　石井健太朗

発行所　株式会社 秋田書店
〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-1326　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座　00130-0-99353

印刷所　大日本印刷株式会社
Printed in Japan

ISBN978-4-253-23580-8

デジタル版　2019年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com